

第76回 卒業証書授与式 2023.3.20(金)

卒業おめでとう

卒業生 名



発行所
常磐南小学校
電話 46-2005
F A X 46-2048
— 第33号 —
2023.3.20



●『学び合い』の目的は、
一人も見捨てない共生
社会を実現すること
●『学び合い』の目標は、
みんなができること
*写真は6年生の授業風景



記憶に残る生徒がいる。
がんばり屋さんで、級長や生徒会
役員を務め、駅伝部では県大会に出
場。明るくて笑顔が絶えない中学生
だった。
その・・が2月22日、本校の・・
鑑賞会で、全国大会入賞の・・
を披露した。
・・部副キ
ャプテン、○○○○さん。すべてに
輝きを増したその姿に、私は胸が熱
くなった。3年ぶりの再会だ。

2023. 3. 20

共生社会

*祝 卒業おめでとう！

校長 都筑 祐一

実は7年前、・・の家族を揺るがす
大事件があった。
「・・が小学校5年生のとき、主人は突然亡くな
りました。自転車でツーリングに出かけ転倒。
一人そのまま帰らぬ人になったのです」
私は3年前、駅伝の会場で・・の
お母さんからこの話を聞かされた。
果たして小学生の・・が、何を支
えにそのときを過ぎ、どのようにな
して明るく元気な子に育ったのか。
私には知る由もない。ただ、芸術鑑
賞会当日、応援に駆け付けたお母さ

んは、私にこんな言葉を残した。
「私も・・も、本当に多くの皆さんに助けられま
した。今あるのは、その方たちのおかげです」
私はこのとき、本校が取り組んで
きた『学び合い』の授業が目指すと
ころを改めて思い起こしていた。
『学び合い』は、一人も見捨てない教育(授業)
「全員ができた」がゴール
「わからないときは、自分から教えて」
「教えて」と言われたら、トコトン教える
「合言葉は「一緒にやろう」」
ときに誰かの力を借りながら、と
きに誰かの力になって、困難を乗り
越えていく。これは『学び合い』が
目指す共生社会の姿だ。そして、「一
人も見捨てない」の主語は、子ども
たち自身であり、教師であり、保護
者であり、地域の大人だ。
・・さん親子を支えたのは、この
理想とする共生社会そのものであつ
たに違いない。
3月20日。卒業式を迎えた。卒業
する子どもたちは、2年にわたって
『学び合い』の授業に挑戦してきた。
そして、「一緒にやろう」を合言葉に、
助け合い、励まし合いながら主体的
に学ぶ力を身に付けた。近い将来、
共生社会を支えるたくましい若者へ
と成長していくだろう。
立派に育った6年生。その姿を保
護者の皆さんと確かめ合い、晴れの
門出を祝いたい。卒業おめでとう。

